

1 外国人労働者の状況

労働者全体の状況について(P1)

- 外国人労働者数は7,804人。前年同期比で1,449人(22.8%)増加し、震災後5年連続で増加するとともに、平成19年度に届出が義務化されて以来過去最高を更新した。

【増加した要因】

- 留学生や技能実習生の受け入れが進んでいることに加え、雇用情勢の改善が着実に進んでいることが考えられる。

○ 国籍別の状況(P2~3)

- ・中国 2,510人(全体の32.2%) [前年同期比3.5%増加]
- ・ベトナム 1,668人(同21.4%) [同53.6%増加]
- ・ネパール 1,106人(同14.2%) [同27.1%増加]

○ 在留資格別の状況(P2~3)

- ・資格外活動 2,613人(全体の33.5%) [前年同月比13.3%増加]
- ・技能実習 2,234人(同28.6%) [同40.3%増加]
- ・身分に基づく在留資格 1,578人(同20.2%) [同14.7%増加]
- ・専門的・技術的分野 1,339人(同17.2%) [同26.7%増加]

○ 地域別の状況(P7)

- ・仙台 5,278人(全体の67.6%) [前年同月比16.9%増加]
- ・石巻 692人(同8.9%) [同45.7%増加]
- ・塩釜 546人(同7.0%) [同43.7%増加]
- ・大河原 346人(同4.4%) [同70.4%増加]

2 事業所の状況

事業所全体の状況について(P1)

・外国人を雇用している事業所は1,372か所。

前年同期比で163か所(13.5%)増加。

○ 地域別の状況(P4)

・仙台	858か所(全体の62.5%)	[前年同期比9.3%増加]
・石巻	148か所(同10.8%)	[同34.5%増加]
・大河原	88か所(同6.4%)	[同31.3%増加]
・塩釜	85か所(同6.2%)	[同11.8%増加]

○ 事業所規模別の状況(P6、10)

・「30人未満事業所」が最も多く、全体の51.1%、外国人労働者全体の26.5%を占めている。

・事業所数はどの規模においても増加しており、特に「500人以上」規模事業所では、前年同期比で18.2%増えており、最も大きな増加率。

3 産業別の状況

産業別の状況について(P5、8)

・外国人労働者、外国人労働者を雇用する事業所ともに、製造業が最も多い。

・製造業は外国人労働者全体の37.4%、外国人労働者を雇用する事業所全体の23.0%を占める。

特に、食料品製造業に従事する者の割合が多い。

4 派遣・請負の状況

派遣・請負の状況について(P1)

・外国人労働者を雇用している事業所のうち、労働者派遣・請負事業を行っている事業所数は84か所(事業所全体の6.1%)。

前年同期比で5か所(6.3%)増加。

・労働者派遣・請負事業を行っている事業所に就労している外国人労働者数は1,227人(外国人労働者全体の15.7%)。

前年同期比で112人(10.0%)増加。